

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
16	ヤマザキ動物看護大学	ヒトと動物の共通感染症	内田 明彦 教授	2	後期	木	15	10:50～12:20	ヤマザキ動物看護大学 南大沢キャンパス	3

【到達目標】

人獣共通感染症は、人類の歴史とともに古くから存在していると思われるが、特に近年産業動物、伴侶動物、野生動物とのかかわりが深くなり、それに伴い動物の持つ病原体と接触する機会も増加している。ヒトと動物の共通感染症はウイルス、細菌、真菌、寄生虫、プリオンまで多岐にわたり、それぞれの病因、疫学、診断、治療及び予防について理解し、発生時に対処できるように理解を深めることを目標にする。

【授業内容】

1. 総論：ヒトと動物の共通感染症の定義、種類及び新興・再興感染症について
2. ウイルス：狂犬病（ビデオ）、ハンタウイルス感染症、Bウイルス感染症など
3. ウイルス：日本脳炎、黄熱、動物由来インフルエンザ、ウエストナイル熱など
4. ウイルス：エボラ出血熱（ビデオ）、E型肝炎ウイルスなど
5. ウイルス：マールブルグ病、ラッサ熱、SARS、MERS、プリオン病など
6. 細菌：炭疽、ペスト、結核、パスツレラ症、サルモネラ症など
7. 細菌：カンピロバクター症、レプトスピラ症、ライム病、豚丹毒など
8. 細菌：鼠咬症、野兎病、ブルセラ症など
9. 真菌、リケッチャなど：恙虫病、オウム病、猫ひっかき病、クリプトコックス症、アスペルギルス症など
10. 寄生原虫類：トキソプラズマ症、トリパノソーマ症、リーシュマニア症など
11. 線虫類：トキソカラ症、広東住血線虫症、犬糸状虫症など
12. 吸虫類：肺吸虫症、横川吸虫症、住血吸虫症など
13. 条虫類：包虫症（エキノコックス症）、有・無鉤条虫症、マンソン孤虫症など
14. ヒトと動物の共通感染症を媒介する衛生動物：蚊、ノミ、ダニ類など
15. ヒトと動物の共通感染症の防疫、検査及び発生したときの対策と届け出

【授業の概要】

総論ではヒトと動物の共通感染症の定義、種類と疫学などを学ぶと共に、環境の変化やグローバル化に伴って危惧されている新興・再興感染症についても解説する。各論ではウイルス、リケッチャ、細菌、真菌、寄生虫（原虫、蠕虫、衛生害虫）、プリオンによるヒトと動物の共通感染症について、病因、感染様式、疫学、診断、治療及び予防について講義を展開する。また、動物だけではなくヒトの症状や予防などについても医学的見地から講義を進めていく。

【成績評価方法】

授業への参加度（30％）レポート提出（20％）と期末試験（50％）で評価する。

【教科書】

専門基礎分野 動物微生物学・動物感染症学、必要に応じて資料を配布する。

【参考書、教材等】

神山著 これだけは知っておきたい人獣共通感染 地人書館
岡部著 感染症から身を守る本 KAWADE夢新書

※ この授業は、9/29（木）が初回です。